

木造共同住宅の防火強化

北九州市が 共用部の警報器設置も 条例改正検討

小倉北区のアパート「中村荘」で6人が死亡した火災を受け、北九州市の北橋健治市長は5日の定例記者会見で、木造共同住宅の防火対策強化に向け、市火災予防条例の改正を検討する考えを示した。廊下など共用部分に住宅用火災警報器の設置を義務化することなどを想定しており、7月中旬にも方向性をまとめる。市火災予防条例では、寝室に住宅用火災警報器の設置を義務付けている。中村荘は警報器がない共用部分

北九州京築

北九州本社
〒802-8558
小倉北区堺町1-2-16
十八銀行第一生命共同ビル4F
093 (482) 2601
FAX (531) 2014

※配達などのお問い合わせは西日本新聞エリアグループ北九州=093・511・1301(午前10時~午後5時、日・祝休み)。

西日本新聞北九州本社のフェイスブック(FB)ページを開設しました。皆さんの声をお待ちしています。アドレスは<https://www.facebook.com/nishinippon.kitaq/>



八枝小6年
よこみづ 横澤 美夏
警察官
テレビで見たときにかっこいいなと思ったからです。(八幡西区)

小倉北区の魚町銀天街に7日、飲食店に特化した商業施設「ウオマチヒカリテラス」(3階建て)が開業する。ビルを運営する第一交通産業(同区)は5日、報道関係者向けの内覧会を行い「新たなにぎわいの拠点に」とアピールした。

ビルは延べ床面積1273平方メートル。呉服店などから土地の権利を取得し、昨年秋から工事していた。「北九州にしかないオリジナリティーのある施設」を掲げ、1階~屋上

ヒカリテラスあす開業 魚町銀天街に飲食施設

の計4フロア(約370席)には、スペイン料理や韓国料理など多彩な9店舗が入る。ターゲットは30代以上の男女。ガラス張りの店内は、茶色や木目を基調として落ち着いた雰囲気だ。肉料理店「スクエアラボ」など九州初出店も2店舗あり、屋上テラスの飲食店やバーも毎日営業。同社ビル事業部の浜里康弘さんは「地元や商店街と連携し、駅周辺から人が流れるような工夫をしていく」と話した。

(押川知美)



魚町銀天街に7日オープンする「ウオマチヒカリテラス」

と同規模の500平方メートル未満は対象外だ。市は条例を改正し、500平方メートル未満で一定規模以上の木造共同住宅を対象に、共用部分と各個室をつなぐ無線連動型火災警報器の設置▽自動火災報知設備の設置義務付け―を検討している。(野村創)

西日本政経 利用し合え 拓殖大の

西日本政経懇話会の7月例会が5日、小倉北区のホテルであり、拓殖大海外事情研究所の富坂聡教授が「最新の中国情勢と日中関係」と題して講演した。写真。要旨は次の通り。習近平国家主席がトップになってから、中国はまるで別の国になった。汚職摘発の手は官僚のみならず、

みかじめ料を要求の 工藤会系組長ら実刑 地裁小倉判決

飲食店経営者らにみかじめ料を要求したとして、暴力団対策法違反などの罪に問われた特定危険指定暴力団工藤会系組長影浦一治被告(49)ら3人の判決で、地裁小倉支部(松藤和博裁判官)は5日、影浦被告に懲役3年6月、罰金300万円(求刑懲役5年、罰金300万

工場の街の 底力

②

かつて「鉄都」と呼ばれた北九州。その一端を担うところから社史が始まる地場中小メーカーの一つが、小倉北区西港町の「板井築炉」だ。創業者は大分出身の左官職人、板井松一氏(故人)。1930(昭和5)年、製鉄景気に沸く北九州の地を踏むと次第に腕が認められ、八幡製鉄所(現在の新日鉄住金)の築炉工になった。板井築炉を起したのは43年。以来、職人集団として同製鉄所などの溶鉱炉建造工事に関わってきた。戦後、画期的な技術の開

継承

発にも成功した。高炉に高温の熱風を送る管の内部。従来は円形の木枠を管に入れ、内側から順に耐火レンガ、断熱レンガを積み重ね、断熱レンガを先に積むと熱が外に逃げにくく熱風管の劣化を防ぐことを突き止めた。管の寿命を従来の2倍に延ばしたという。その後、開発メンバーの1人は黄綬褒章を受章した。転機は73年の第1次オイルショック。高炉の仕事は



①レンガが積みあがる様子を見守る板井築炉の板井一正社長(右端)と板井正美会長(右から2人目) ② 装具の組み立てや微調整を手作業で進める有蘭製作所の工場



減り、同じ「炉」でも、ごみ焼却炉に活路を求めた。現在、北九州市内はもとより関東地方も含め30~40カ所のごみ焼却炉の点検など

注の焼き鳥調理台を納入したこともある。時代は変わっても築炉技術の多くは手作業。「生き残りのためには、若手社員への継承が欠かせない」。3代目社長の一正氏(47)は「レンガが積みあがるように、新しい技術の製作現場への導入に力を注ぐ。」

起源に「鉄都」との縁

減り、同じ「炉」でも、ごみ焼却炉に活路を求めた。現在、北九州市内はもとより関東地方も含め30~40カ所のごみ焼却炉の点検など